

**保険契約情報管理クラウドサービス****「MyPare(マイペア)」利用価格を大幅見直し
無料フリープランで新たな税理士ユーザー開拓**

凸版印刷(株)が提供する、すべての保険契約情報を安全な環境で有効的に一元管理できるクラウドサービス「MyPare(マイペア)」の新料金プランが10月に公開される予定だが、それに先立ち、無料の「フリープラン」が新たに設定される。これにより会計事務所がお試し感覚で「MyPare」を利用できるようになり、同サービスは更なるユーザー層の拡大を目指していく。

この保険契約情報管理ツールである「MyPare」は、保険会社を問わず保険契約情報を一律のフォーマットで入力・更新ができ、さらに満期・満了や解約返戻金のピークをメールでリマインドする機能や経理処理例を出力するなどのサポート機能も備えた、税理士や保険代理店に最適な業務支援クラウドサービス。

特に2019年7月以降、複雑になった経理処理もあり、仕訳が4年で変わる生命保険等神経を使うところだが、このサー

ビスを利用すれば瞬時に分かり、生命保険の取り扱いの多い会計事務所には心強い味方となる。

会計事務所と生命保険の関わりは年々重要性を増しており、保険の見直しを提案する際には事前に現状の契約内容を把握しておく必要がある。そうした場面で役立つのが「MyPare」で、保険契約者の契約情報を顧問先の同意や依頼を受けてクラウド上で管理できるため、その利便性が会計事務所から注目されている。

今回登場した無料のフリープランは、1顧問先当たり「20証券の保険」が登録できる「ID」が5つ提供されるもので、初期費用がかからず有効期間の制限もない。小規模な会計事務所で、顧問先が加入する保険の契約数が少なければこの「フリープラン」で十分対応が可能だ。従来の無料トライアルプランは、1ヶ月間限定で20証券が登録できるIDを「100」提供するものであったが、そこ

までキャパシティを必要としないユーザーから人気を集めそうだ。

また、10月以降の新料金体制では、これまでの有料プランの内容が一新する。初期費用および月額費用が割安になるほか、定額制で「200証券」登録できる「ID」を100個提供していたプランから、登録できる保険証券の数量を20から300までの間で5つのタイプに細分化し、登録したい顧客に応じたタイプのIDを必要な数量だけ申込みできる仕組みに変更する予定。これまで最初からIDが100個の定額制だった利用料金が、今回の改訂で選択制が取り入れられたことで、ユーザーにとってはより利用しやすくなる。

先行する「フリープラン」ユーザーが、「1顧問先で20証券の保険」の利用限度枠を超えれば「有料プラン」に移行することが可能であり、その場合でも、顧問先の状況にあわせた既存のIDの領域

拡大や必要なIDを自由に追加出来るので無駄が省ける。

また、印刷面や細部にわたる機能強化が図られるほか、申込み方法も従来の「紙」からネットで申し込みができるように変更し、使い勝手を向上させる予定でいる。

凸版印刷が販売を開始して約1年が経過するが、今回の大幅な見直しについて凸版印刷DXデザイン事業部プロセッシングビジネス本部の石田英二本部長(写真)は「今回のフリープランで少しでも多くの税理士の先生方にMyPareをお使いいただき、保険を活用した顧問先様のご支援に繋がるMyPareの魅力をぜひ体感いただきたい」と話している。

また、「MyPare」の販売代理店サイドでも、(株)e-Return(イーリターン)では既に税理士向けに「フリープラン」の申込みを開始している。

このほか、保険業界内でも大手保険会社らが、この「MyPare」に着目しており、保険代理店の活性化や税理士マーケットの開拓などに活用する動きが出ており、さらに利便性の高まったこのプラットフォームに注目が集まっている。